

奈良県放射線技師会学術事業 県民公開講座

演
題

ドクターヘリの現状と未来

【講演概要】

ドクターヘリは1995年に起きた阪神淡路大震災における災害医療体制の反省から生まれた。2007年のドクターヘリ特別措置法の制定後に各府県の配備が一気に進み、奈良県にも2017年にドクターヘリが全国50機目として導入された。ドクターヘリは時速200kmの航行スピードで多くの症例を救命してきた。一方で悪天候時には出動ができない、夜間は飛行することは出来ない、などいくつかの問題が指摘されている。現在ドクターヘリは全国で年間29,055件出動しているが、Society 5.0（ソサエティ5.0）に向けてドローンや空飛ぶ自動車などとの連携を視野にいれた活動など、さらなる活躍が期待されている。



奈良県立医科大学高度救命救急センター長
救急医学教室

教授 **福島 英賢** 先生

【プロフィール】

平成8年大阪市立大学医学部卒業、同年淀川キリスト教病院研修医、平成10年奈良県立医科大学救急医学教室入局、平成19年同局助教、平成25年同局講師、平成27年Emergency Medicine Research Center, University of Arizona、平成29年奈良県立医科大学救急医学教室准教授、平成30年同局教授。

【開催方法】：Webによるオンデマンド配信

【配信日時】：2022年2月25日（金）～ 3月15日（火）

【参加費】：無料

【後援】：奈良県・奈良市・（公社）日本診療放射線技師会

【視聴方法】：奈良県放射線技師会ホームページ内の会員ページ

または、QRコードから大会ページへお進みください。



お問合せ

公益社団法人 奈良県放射線技師会

奈良県放射線技師会

検索

〒634-0076 奈良県橿原市兵部町2-9 フレガビル 4F ☎ 0744-24-6270